

戦後80年企画・神田香織講談

はだしのゲン

—総集編—

踏まれても麦のように生きろ、ゲン!

広島、長崎に原子爆弾が投下されてから80年を迎える今、世界は核戦争の危機に直面しています。

戦争と原爆の真実を、原発事故を経験したこの福島でこそ語っていただきたいということで、神田香織さんの講談「はだしのゲン」(原作:中沢啓治)を聴く会を、下記の通り企画しました。ご来場を心よりお待ちしております。

2025年 10月 12日(日)

13時30分開場

14時開演



福島市市民センター大ホール

入場料 一般 2,000円 / 学生・障がい者 1,000円

小学生以下無料

神田香織さんのプロフィール

福島県いわき市出身。劇団を経て1980年に、二代目神田山陽門下生となる。二つ目以降ジャズ講談や、一人芝居の要素を取り入れた神田香織独自の講談を次々発表、講談の新境地を切り開いている。

2011年の震災後、NPO ふくしま支援・人と文化ネットワークを立ち上げふるさと福島を支援し続けている。代表作は、「はだしのゲン」「チェルノブイリの祈り」「米軍ジェット機墜落一哀しみの母子像」「フラガール物語」「福島の祈り」「沖縄戦ーある母の記録」など。

1986年 講談「はだしのゲン」で日本雑学大賞受賞。

2010年 第6回女性人権活動奨励賞のやよりジャーナリスト特別賞を受賞。

2012年 第24回多田謠子反権力人権賞受賞。

2024年 澄和・平和活動賞受賞

2024年に放送された、BS12スペシャル『「はだしのゲン」の熱伝導 ～原爆漫画を伝える人々～』が、2024年メディア・アンビシャス大賞と、2025年第15回衛星放送協会オリジナル番組アワード<ドキュメンタリー>最優秀賞を、相次いで受賞。

名義後援団体

福島県 / 福島県教育委員会 / 福島市 / 福島市教育委員会 / 伊達市 / 伊達市教育委員会

福島テレビ / 福島放送 / テレビユー福島 / 福島中央テレビ / 福島民報社 / 福島民友新聞社

朝日新聞福島総局 / 毎日新聞福島支局 / 読売新聞東京本社福島支局 / 河北新報社

株式会社ラジオ福島 / ふくしまFM / 福島コミュニティ放送FM ポコ

主催 神田香織講談を聴く会

連絡先 080-5566-6046(宍戸) / watakao19@gmail.com(渡辺)

今回演じられる神田香織講談「はだしのゲン—踏まれても麦のように生きろ!」は、作者中沢啓治氏の実体験に基づき、原爆投下後の広島戦後を描いた作品です。原爆の破壊力や被ばく者の苦しみを描くだけでなく、戦後の混乱期における想像を絶する貧困・差別・暴力といった社会の不条理や人権侵害を浮き彫りにします。主人公ゲンは、「踏まれても麦のように生き抜け」という父の教えを胸に、困難にくじけず立ち上がり、生き抜く力を学んでいきます。

いま地球上では、ロシア・ウクライナ戦争、パレスチナ・イスラエル紛争など、核に怯えながらの悲惨な状況が繰り返されています。それなのに唯一の戦争被爆国である日本が、核兵器禁止条約に署名も批准もしないのはなぜなのか？ 福島は私たちに問い続けているのではないのでしょうか。

戦後80年という節目に、核なき世界の実現に向かって私たちに何ができるのか、一緒に考える場になればと思います。

神田香織講談を聴く会

賛同金への協力をお願いします。

公演の開催には、会場費、音響設備費、広報宣伝費など多くの経費がかかります。神田香織講談「はだしのゲン—総集編—」を成功させるため、賛同金への協力をお願いします。

賛同いただける方は、表面の連絡先まで電話またはメールでご連絡いただければ、送金先をお知らせします。

賛同金：1口1,000円

福島市民センターへのアクセス

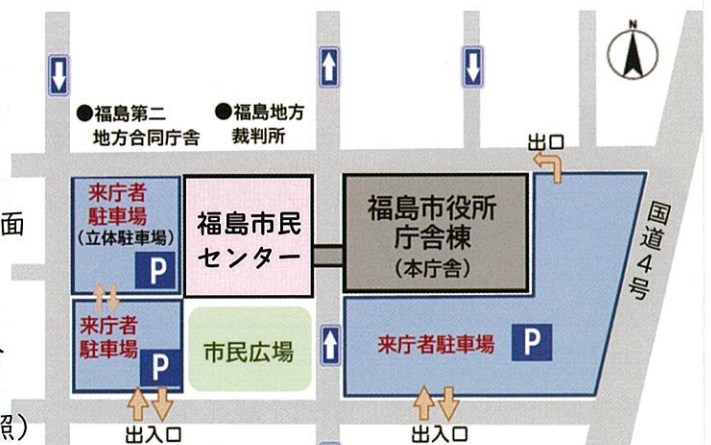
(福島市五老内町3-1 TEL: 024-534-6631)

〈公共交通機関(福島交通バス)をご利用の場合〉

- ・福島駅東口(9番のりば)から市内循環バス「市役所前」停留所より徒歩1分
- ・福島駅東口(2番・3番のりば)から伊達・保原方面「市役所入口」停留所より徒歩3分

〈お車をご利用の場合〉

- ・東北自動車道 福島飯坂インターチェンジより15分
または福島西インターチェンジより20分
- ・駐車場は、来庁者駐車場を使用できます。(地図参照)



『3・11を生き抜く力声を持つて』
2023年11月17日出版
インパクト出版会



『乱世を生き抜く語り口を持つて』
2010年2月1日出版
インパクト出版会

